

様式第1（第3条関係）

特定施設設置（変更）許可申請書

年 月 日

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

西宮市長様

申請人 住所

名称

氏名
(代表者)
電話番号
電子メール
担当者名

瀬戸内海環境保全特別措置法第5条第1項(第8条第1項)の規定により、特定施設の設置(構造等の変更)の許可を受けたいので、次のとおり申請します。

工場又は事業場の名称		*	整理番号	
工場又は事業場の所在地		*	受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		*	施設番号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	*	審査結果	
△ 特定施設の構造	別紙1のとおり。	*	備考	
△ 特定施設の使用方法	別紙2のとおり。			
△ 汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。			
△ 排出水の量(排水系統別の量を含む。)	別紙4及び別紙5のとおり。			
△ 排出水の汚染状態(排水系統別の汚染状態を含む。)				
△ 用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
△ 特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙7のとおり。			

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、当該特定施設が水質汚濁防止法施行令(昭和46年政令第188号)別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令(平成11年政令第433号)別表第2のいずれに該当するか、並びに該当別表に掲げる当該特定施設の号番号及び名称を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙7を亭提出することを要しない。
- 3 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 4 *印の欄には、記載しないこと。
- 5 変更申請の場合は、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 6 申請書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
- 7 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。

別紙

事業場名

申請事項内容

担当者職氏名

(電話)

申請概要及び理由			
既許可又は届出記載事項の変更等の状況		別紙の添付状況	廃止予定の特定施設(号番号/基数/廃止予定年月日) 汚染状態 減 ・ 変らず ・ 増 排出水量 減 ・ 変らず ・ 増 (その理由)
特定施設の構造	無 ・ 有	別紙 1	
特定施設の使用の方法	無 ・ 有	別紙 2	
汚水等の処理の方法	無 ・ 有	別紙 3	
排出水の汚染状態及び量	無 ・ 有	別紙 4	
排出水の排水系統別の汚染状態及び量	無 ・ 有	別紙 5	
用水及び排水の系統	無 ・ 有	別紙 6	
特定施設の設備	無 ・ 有	別紙 7	

添付図面内訳		添付の状況
工場付近見取図(主要河川等への放流経路を含む)	別紙 1 関係	
工場内の配置図(主要な施設の配置図を含む)	別紙 2 関係	
特定施設の構造図(特定施設に関連する主要機械・主要装置の配置図を含む)	別紙 1 関係	
施設の操業系統図(フローシート)	別紙 2 関係	
工場内排水経路図(排水口の位置図を含む)	別紙 3 関係	
汚水処理施設の構造図	別紙 3 関係	
汚水処理施設の処理系統図(フローシート)	別紙 3 関係	

別紙1

特 定 施 設 の 構 造

工場又は事業場 における施設番号		
特定施設番号 及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 場 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項		

- 備考
- 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載
 - 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施に該当する施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙2

特定施設の使用方法

工場又は事業場における 施設番号					
特定施設番号 及び名称					
設置場所		別図()のとおり		別図()のとおり	
操業の系統		別図()のとおり		別図()のとおり	
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法 及び1日当たりの使用量					
汚 水 等 の 汚 染 状 態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH				
	BOD(mg/L)				
	COD(mg/L)				
	SS(mg/L)				
	T-N(mg/L)				
	T-P(mg/L)				
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

汚 水 等 の 処 理 の 方 法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所		別図()のとおり				別図()のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		年 月 日				年 月 日			
工事完成予定年月日		年 月 日				年 月 日			
使用開始予定年月日		年 月 日				年 月 日			
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統		別図()のとおり				別図()のとおり			
集水及び導水の方法		別図()のとおり				別図()のとおり			
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状況及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH								
	BOD(mg/L)								
	COD(mg/L)								
	SS(mg/L)								
	T-N(mg/L)								
	T-P(mg/L)								
	量(m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
 2 排水水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙4

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口()		排水口()		排水口()	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	pH						
	BOD(mg/L)						
	COD(mg/L)						
	SS(mg/L)						
	T-N(mg/L)						
	T-P(mg/L)						
排出水の量 (m ³ / 日)		通常	最大	通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項							

備考 排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

				指定項目の別			化学的酸素要求量					
排水口 No	特定 排水 区分 コード	業種その他 の区分		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ / 日)			汚濁負荷量 ※ (kg/日)			
		ガイド ライン 区分	産業 分類	通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大
		合 計										
特定排出水 以外の 排水水		種類及び用途		汚 染 状 態 (mg / L)		水 量 (m ³ / 日)		汚 濁 負 荷 量 ※ (kg / 日)				
				通常	最大	通常	最大	通常	最大			
										特定排出水以外の排水水		
		合 計										
なその べ他 き参 考事 項と												

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 ※印の欄には記載しないこと。
 - 3 汚濁負荷量(最大) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(最大) (m³/日) ÷ 1000
 - 4 汚濁負荷量(通常) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(通常) (m³/日) ÷ 1000

お願い: 変更があるときは変更前後で用紙を分けて下さい。また、どの部分を変更するか(変更したか)分かるように、★、☆印等を記入してください。
 その場合、その他参考事項欄に「☆印:変更部分」、「★印:追加分」等と書いてください。

別紙5

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

										指定項目の別		窒素含有量	
排水口 No	特定 排水 区分 コード	業種その他 の区分		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)				汚濁負荷量 (kg/日)		※	
		ガイドライン 区分	産業 分類	通常	最大	通常	最大	Qno	Qni	通常	最大		
													合 計
特定 排出 水													
		合 計											
特定 排出 水 以 外 の 排 出 水		種類及び用途		汚 染 状 態 (mg / L)		水 量 (m ³ / 日)		汚 濁 負 荷 量 (kg / 日)		※			
				通常	最大	通常	最大	通常	最大				
		合 計											
な そ の 他 の 参 考 事 項													

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 ※印の欄には記載しないこと。
 - 3 汚濁負荷量(最大) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(最大) (m³/日) ÷ 1000
 - 4 汚濁負荷量(通常) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(通常) (m³/日) ÷ 1000

お願い: 変更があるときは変更前後で用紙を分けて下さい。また、どの部分を変更するか(変更したか)分かるように★、☆印等を記入してください。
 その場合、その他参考事項欄に「☆印:変更部分」、「★印:追加分」等と書いてください。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

	排水口 No	特定 排水 区分 コード	業種その他の 区分		汚染状態 (mg/L)		指 定 項 目 の 別				りん含有量		※	
			ガイドライン 区分	産業 分類	通常	最大	水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		通常	最大		
							通常	最大	Qpo	Qpi				
特定 排出 水														
	合 計													
特定 排出 水 以 外 の 排 出 水			種類及び用途		汚 染 状 態 (mg / L)		水 量 (m ³ / 日)		汚濁負荷量 (kg/日)		※			
					通常	最大	通常	最大	通常	最大				
			合 計											
な そ の 他 の 参 考 事 項 と														

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 ※印の欄には記載しないこと。
 - 3 汚濁負荷量(最大) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(最大) (m³/日) ÷ 1000
 - 4 汚濁負荷量(通常) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(通常) (m³/日) ÷ 1000

お願い: 変更があるときは変更前後で用紙を分けて下さい。また、どの部分を変更するか(変更したか)分かるように★、☆印等を記入してください。
 その場合、その他参考事項欄に「☆印:変更部分」、「★印:追加分」等と書いてください。

別紙6

用 水 及 び 排 水 の 系 統

用水及び排水の系統			
	用 途	使 用 水	用水使用量(m ³ /日)
用 途 別 用 水 使 用 量			
	合 計	—	

別紙7

特 定 施 設 の 設 備

工場又は事業場 における施設番号		
特定施設番号 及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 場 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考と なるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。